

日本共産党

西宮市会議員団ニュース

(発行) 日本共産党西宮市会議員団
(2021.1.13 No.735)
西宮市六湛寺町 10-3 (西宮市議会内)
TEL35-3368 FAX・22-7815
Eメール nmc30547@nishi.or.jp
ホームページ http://nishinomiya.jcp-giin.net/

GIGA スクール構想 「意見募集」

すべての児童生徒に1人1台のタブレット端末を配布し、ICT(情報通信技術)の活用を進める「GIGA スクール構想」が、新型コロナの影響もあり、急速に動き始めています。西宮市においては、今年度中にすべての小・中・義務教育学校・特別支援学校の子どもたちへのタブレット端末の配布を終え(1月より中学校、2月に小学校と順次配布予定)、来年度から本格的に始動する計画です。教育の大きな転換点になりうる事業ですので、みなさんの声もぜひともお聞かせください。

「GIGA スクール構想」とは?

文科省は以下のように定義しています。

- ◆1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現する
- ◆これまでの我が国の教育実践と最先端のベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

とてもわかりにくいですが、単純に「学校において1人1台タブレット端末を配布し、ICT(インターネット等)を積極的に活用していく構想」と捉えてもらえれば十分です(写真1)。



写真1: タブレットを活用した授業



写真2: オンライン授業の様子

オンライン授業も始まるの?

GIGA スクール構想が整備されれば、オンライン授業も可能となります(写真2)。あくまでも基本は「対面(オフライン)」での授業ですが、休校時等の対応として、今後進められていく予定です。なお、通信環境が整っていない家庭には、市教育委員会から通信機器を貸し出します。

何か問題はないの?

これまでの教育が大きく変わっていく可能性があるため、不安を感じる方も少なくないと思います。しかし、世界的に見ても、大人たちが当たり前のようにICT機器を使っている現状を見ても、この流

れを止めることはできません。

ただ、私たち議員団が懸念しているのは、「個別最適化」という大義名分のもと、子どもたちが“分断”され、よりいっそう“格差”が広がっていきってしまうことです。また、先生方が“不要”とされていく可能性があることです。

たとえば、子どもたちに配布されるタブレット端末では「デジタルドリル」が使えるようになります。この「デジタルドリル」を使えば、個々の能力に応じた問題が自動的に端末に表示されるようになり、子どもたちはその「個別最適化」された問題をひたすら解いていくことが可能になります。つまり、同じ教室にいるのに、Aさんはずっとたし算をやっている、Bさんはかけ算やわり算をやっているということも十分にありうるのです。

実際にICTの活用が進んでいるアメリカのある学校では、子どもたちは個々のブースでパソコンに向かい、正規教員ではなく無免許のインストラクターが一度に最大130人もの生徒をモニターするという例もあるようです(写真3)。

「教育とは“学力”がすべてである」という“成果主義”を土台にGIGAスクール構想を進めると、このアメリカの学校のような事態になりかねません。そうならないようチェックしつつ、“人格形成”という本来の教育目的を中心に据え、「少人数学級こそ重要だ」の声を上げ続けていきたいと思っています。



写真3: アメリカの“個別最適化”された授業風景

意見募集!

市教育委員会は、1月中旬から2月中旬にかけて「意見募集」を行うとしています(詳細は西宮市のGIGAスクール構想で検索)。市教委も模索状態ですので、ぜひみなさんの声をお寄せください。また、議員団にもみなさんの声を聞かせてください。一緒によりよい学校について考えていきましょう!